アクティブなChōju社会を実現

TOKYO認知症施策推進プロジェクトを始動し認知症との共生を実現

戦略４

認知症の人が**社会の一員として尊重**されるとともに、**希望を持って暮らす**ことができる社会の実現に向けて、**認知症の治療法開発等の技術革新**や**予防・早期診断**の取組を支援

認知症との共生

普及啓発	地域づくり	社会参加促進
都民の認知症に対する理解を深め、同じ社会の一員として地域をともに創っていく	**認知症の人や家族のニーズ等**と認知症サポーターを中心とした**支援をつなぐチームオレンジを整備**	**認知症になっても、社会の対等な構成員として支え合い共生**できる社会の実現
• 都民の認知症に対する理解を深めるための**普及啓発を実施**	• 認知症の人や家族を支える「**チームオレンジ**」**整備**に**対する伴走型支援を実施** • **GPS機器等のIoTを活用した認知症高齢者の早期発見**の仕組みづくり等に取り組む区市町村を支援	• 関係機関や民間企業等と連携して**社会参加の機会**を創出

ＴＯＫＹＯ認知症施策推進プロジェクト

※都内先行自治体においてモデル実施

治療・ケア

啓発・検診 → 診断 → 精密検査 → 治療・介護

①セルフチェック
②認知症検診、問診

• 認知症早期診断のため、都が区市町村に対し補助を行う**認知症検診の対象者を拡充**

③検査

④認知症抗体医薬の投与

• 12医療圏において、新薬を用いた治療が実施できる体制を確保

⑤日常の医療
⑥介護保険サービスの利用

• 東京都医学総合研究所と協働して、ＢＰＳＤケアプログラム※を運用・普及促進

※不安、うつ、徘徊などの行動・心理症状を「見える化」し、適切なケアをサポートするプログラム

新薬への対応（東京都健康長寿医療センター）

• **認知症抗体医薬**に対応できる医療機関や人材を育成
• 専門職等からの相談窓口の設置
• 認知症疾患医療センター職員への研修の実施

• 医師会と連携して認知症サポート医認定制度を創設し、**認知症サポート医の活動を活性化**

研究の蓄積による下支え

研究

東京都医学総合研究所の研究

• 発症メカニズムの解明や病態進行を遅らせる新しい**治療法、治療薬の開発につなげる基礎研究**を推進
• ＢＰＳＤケアプログラムに関するオンラインシステムの運用・管理等を実施

東京都健康長寿医療センターの研究（ＩＲＩＤＥ）

• 認知症研究のプラットフォーム「**ＴＯＫＹＯ健康長寿ＤＢ**」について、外部研究機関等がデータベースを活用できる環境を整備
• 医師の診断をサポートする**ＡＩ認知症診断システム**及び**バイオマーカー**の実用化
• 早期発見・早期支援につなげる**ＡＩチャットボット**における会話機能の精度を向上
• 地域コホートビッグデータを活用した**リスク要因の見える化リスクチャート**を完成
• **地域で暮らす認知症高齢者支援モデル**を構築